

第III編 地域別構想編

第1章 地域別構想

1-1 地域区分

1-1-1 地域区分

地域別構想は、本市を6つの「地域」に区分し、それぞれの地域のまちづくり方針を定めます。区分にあたっては、まちづくりのまとまりや地形地物、自然条件、土地利用、日常生活の交流条件などを考慮し、下記に示す区域に区分します。

図一地域区分図



地域名	対象小学校区	特徴（概略）
北部	月瀬 石貫 三ツ川	市北部に位置し、小岱山、そのふもとの農地など、 自然的土地利用が大半を占めるエリア である。この地域には、石貫ナギノ横穴群などの史跡が点在している。
中部	玉名町 築山 玉名	市中央部に位置し、 既成市街地及び市街地化が進んでいるエリア である。市役所をはじめとする官公庁・新庁舎予定地・新玉名駅・JR玉名駅・国道208号・国道208号バイパスなど、多くの公益施設が集積する。
西部	滑石 睦合 大野 高道 鍋	市西部に位置し、 岱明自治区を中心とした菊池川右岸のエリア 。田園地帯における農業、有明海沿岸における水産業が盛んである。JR大野下駅を有し、地域南部には国道501号が走る。
東部	伊倉 八嘉 小田 梅林	市東部に位置し、 地域中央部を走る国道208号を軸とした菊池川左岸のエリア 。田園地帯と森林地帯に大別され、桃田運動公園、伊倉商店街、JR肥後伊倉駅を有する。
南部	豊水 大浜 横島	市南部に位置し、 横島自治区を中心とした菊池川左岸のエリア 。干拓による田園地帯における施設園芸などが盛んである。地域中央を国道501号が走り、有明海にも面している。地域は 有明中学校区の構成地域 でもあり、つながりも深い。
南東部	玉水 小天 小天東	市南東部に位置し、 天水自治区で構成されるエリア 。金峰山系の緩やかな傾斜面を活用した果樹栽培が盛んな中山間地と田園地帯からなり、熊本市と隣接する。

1-1-2 地域別概況

(1) 各地域における現況データ

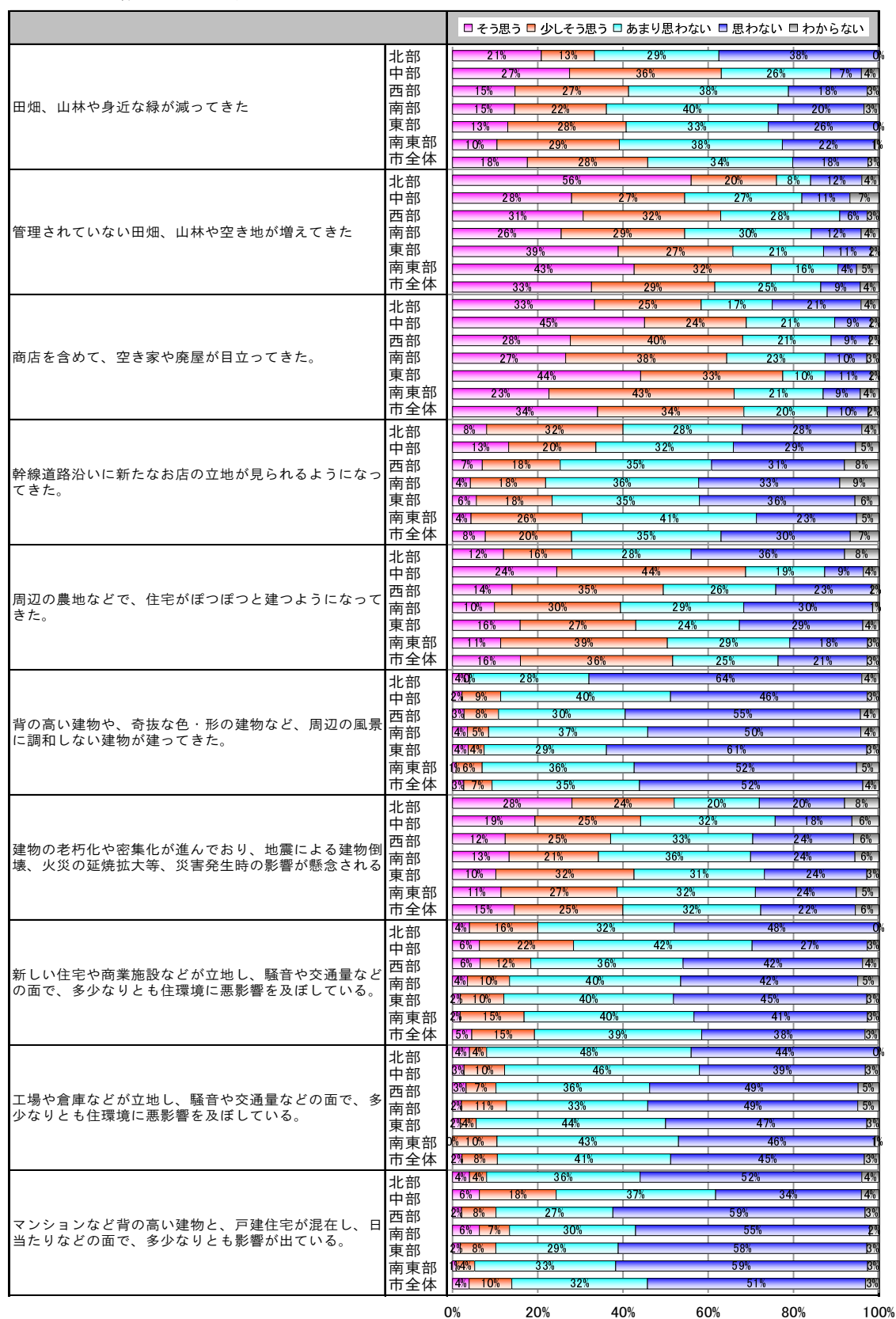
各地域における現状については以下の通りです。

表一 地域別現況データ

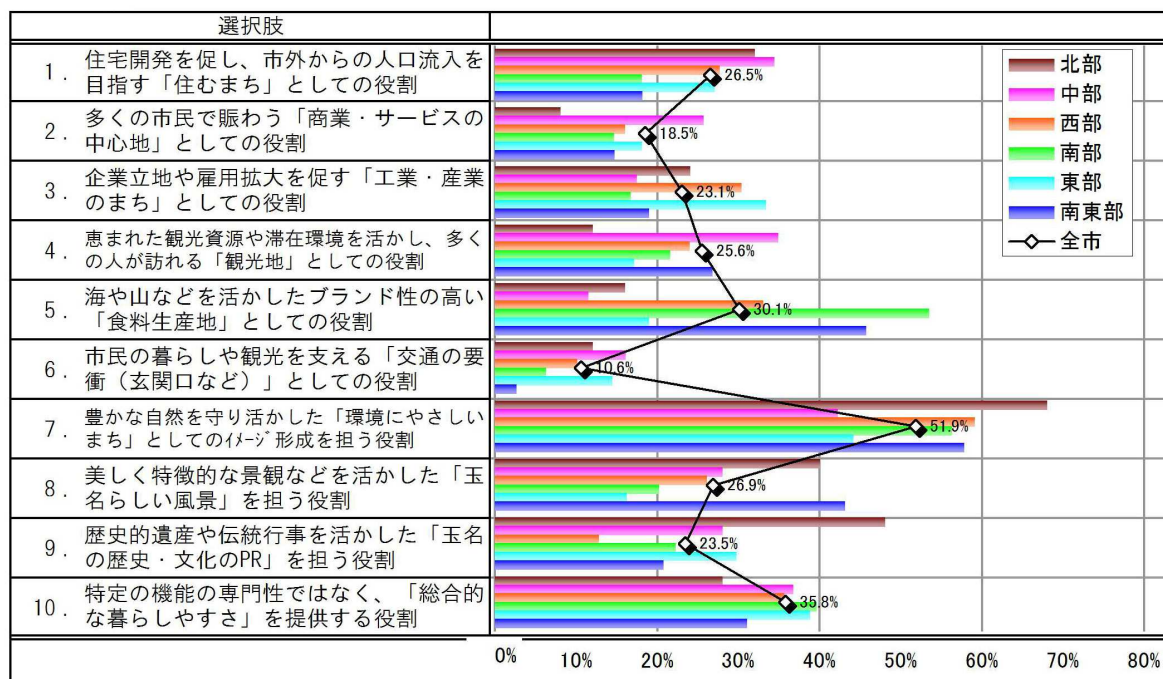
項 目		北部	中部	西部	東部	南部	南東部	市全体
地域構成 (対象小学校区)		月瀬 石貫 三ツ川	玉名町 築山 玉名	滑石 睦合 大野 高道 鍋	伊倉 八嘉 小田 梅林	豊水 大浜 横島	玉水 小天 小天東	—
人 口 (人)	14 歳 以下	335	3,558	2,069	1,205	1,126	814	9,107
	65 歳 以上	798	5,259	5,163	3,241	2,875	1,986	19,322
	合 計	2,620	23,652	17,004	10,280	9,476	6,509	69,541
高齢化率 (%)		30.5	22.4	30.4	31.5	30.3	30.5	27.9
世帯数 (世帯)		845	9,575	5,798	3,415	2,809	1,902	24,344
面 積 (ha)		2,433	2,017	2,856	2,923	2,860	2,164	15,253
人口密度 (人/ha)		1.1	11.7	6.0	3.5	3.3	3.0	4.6
産 業 (%)	第 1 次産業	9.5	2.5	13.4	10.1	39.1	47.1	16.6
	第 2 次産業	31.0	25.7	32.0	31.4	21.1	14.4	26.4
	第 3 次産業	59.5	71.8	54.6	58.5	39.8	38.5	57.0
都市計画区域の 範囲		三ツ川地 区を除いた エリア	全エリア が都市計 画区域内	全エリア が都市計 画区域内	全エリア が都市計 画区域内	横島地区 を除いた エリア	全エリア が都市計 画区域外	—
都市計画区域 面積 (ha)		1,581	2,020	2,860	2,927	1,167	0	10,555

※ 出典 H22国勢調査など

(2) 各地域における現状



(3) 各地域におけるまちづくりの基本的な考え方



(4) 地域別まちづくりのテーマ・方針

本市の都市づくりの理念である「人と自然がひびきあう 県北の都 玉名」を達成するため、市域の6つの地域がそれぞれの地域特性を活かしつつ、役割を分担し、全体として調和のとれた発展を遂げるよう、各地域におけるまちづくりのテーマを設定します。

また、全体の都市づくりの方針である「交流、快適、安全、自立」の4つの基本方針を念頭に掲げ、各地域における基本方針別のまちづくり方針をそれぞれ設定します。

地域	各地域のまちづくりのテーマ・方針
北部	<u>やすらぎ・安心・つながりのある北部地域</u> ◆ 豊かな自然を守り活かした環境にやさしいまちづくり（交流） ◆ 豊かな自然環境に囲まれたやすらぎのあるまちづくり（快適） ◆ みんなの力で進める安全に住み続けられるまちづくり（安全） ◆ 歴史的資源や自然的資源の活用によるつながりのあるまちづくり（自立）
中部	<u>自然と調和する 便利で活気あふれる中部地域</u> ◆ 「県北地域の発展を主導する交流拠点都市」の中心部としてふさわしい交流活動の展開（交流） ◆ 本市中心部としてふさわしい都市機能の維持・向上と良好な市街地の形成による住み続けたいまちづくり（快適） ◆ 本市の中核を担う地域としての防災まちづくりの推進（安全） ◆ 地域固有の歴史・文化と福祉の要素を取り入れた、地域が元気になるまちづくり（自立）
西部	<u>地域資源に包まれ つながりが強い西部地域</u> ◆ 地域資源（祭り、海、山、並木）を見つめ直し、活用したまちづくり（交流） ◆ 豊かな地域資源に包まれた、潮風とみどり薫る暮らしやすいまちづくり（快適） ◆ みんなの力で進める安全に住み続けられるまちづくり（安全） ◆ 地域のまとまりが強く、地域みんなで元気になるまちづくり（自立）
東部	<u>自然と歴史を感じ 安心して生活ができる東部地域</u> ◆ 森の緑と川に囲まれた田園環境のうるおいが残る人が集うまちづくり（交流） ◆ 豊かな自然と歴史を身近に感じることができる暮らしやすいまちづくり（快適） ◆ みんなの力で進める安全に住み続けられるまちづくり（安全） ◆ 誰もが安心して生活できる地域のつながりを大切にしたいまちづくり（自立）
南部	<u>自然と共生した 歴史・文化を感じる南部地域</u> ◆ 自然環境の保全と地域資源としての活用による豊かな自然と共生したまちづくり（交流） ◆ 豊かな田園風景に囲まれたゆとりと潤いのある住み続けたいまちづくり（快適） ◆ みんなの力で進める安全に住み続けられるまちづくり（安全） ◆ 歴史・文化が感じられる地域が元気になるまちづくり（自立）
南東部	<u>自然と文化に包まれ 交流といやしのある南東部地域</u> ◆ 地域資源を活用した地域住民、市民、来訪者による交流のまちづくり（交流） ◆ 豊かな自然と文化に包まれた、ゆとりと潤いのある住み続けたいまちづくり（快適） ◆ みんなの力で進める安全に住み続けられるまちづくり（安全） ◆ 誰もが安心して生活できる、地域みんなで元気になるまちづくり（自立）

1-2 地域別構想

1-2-1 北部地域 ※対象小学校区：月瀬、石貫、三ツ川

(1) 概況 ※ 〇〇については、本文下に写真を掲載

- 南関町、和水町と隣接する市北部に位置し、小岱山や菊池川、繁根本川などの自然的資源に恵まれたエリアである。
- 地域の大半を山林や田畑が占めており、谷あいを走る地域の主要な動線である県道玉名八女線沿道に主に集落が形成されている。
- 本地域には、熊本県や近隣2市10町（当時）の財政支援などにより誕生した公設民営の九州看護福祉大学が立地しており、本市との包括協定も締結され、今後、さらなる連携・協力が期待される。
- 地域北側の三ツ川地区を除き、都市計画区域が指定されているが、用途地域は未指定である。また、小岱山一帯は県立自然公園に指定されている。
- 平成22年の人口は2,620人、人口密度は1.1人/ha（市全体4.6人/ha）と6地域の中で最も低い地域である。また、高齢化率は31%と市全体（28%）に比べてやや高い状況にある。
- 第2次産業や第3次産業人口の割合が市全体よりもやや高い。
- 近年の市街化動向は、都市計画区域内での新築動向が都市計画区域外よりも活発であり、農業用倉庫、畜舎などが主な用途である。
- 地域内の小岱山麓には、古墳時代に造られた横穴墓が数多く所在する。その中でも、内部や入口に彩色や浮き彫り、線刻などの方法で文様が描かれた「石貫ナギノ横穴群」及び「石貫穴観音横穴」が著名であり、国の史跡に指定されている。その他にも、小岱山麓には古代から中世にかけて栄えたとされる「六反製鉄跡」や室町時代に菊池氏によって勧請された「廣福寺」をはじめ、寺社や山城など数多くの歴史的資源が点在している。



小岱山



菊池川



九州看護福祉大学



石貫ナギノ横穴群



六反製鉄跡

写真一 北部地域の地域資源

（２）本地域における主要課題

○豊かな自然環境の保全・活用（「交流」に関する課題）

…小岱山に連なる丘陵地をはじめとした自然的要素を市民の財産として後世に継承するとともに、新たなにぎわいを創出する地域資源としてさらなる活用を図る必要があります。

○豊かな自然環境に囲まれた居住地としての快適性の維持（「快適」に関する課題）

※快適な住環境の維持（「快適」に関する課題）

…県道玉名八女線沿道の集落においては、豊かな自然環境に囲まれた、落ち着いたある快適な住環境を維持する必要があります。

○安全で安心できる暮らしの実現（「安全」に関する課題）

…繁根木川流域における浸水被害、小岱山に連なる丘陵地における土砂災害などといった自然災害や、火災、交通事故、犯罪などによる被害を抑制・軽減するため、地域住民と行政が一体となり、安全性の確保に努める必要があります。

○地域資源の活用による地域コミュニティの維持・向上（「自立」に関する課題）

…地域内に点在する数多くの歴史的資源を後世に継承するとともに、新たなにぎわいを創出する地域資源としてさらなる活用を図る必要があります。また、地域住民と行政が一体となり、地域コミュニティを維持する必要があります。

（３）基本的な考え方・テーマ

北部地域のまちづくりのテーマ

やすらぎ・安心・つながりのある北部地域

（４）地域まちづくりの方針と主要な施策

※ ○○は市民ワークショップ意見反映箇所

※ 【重点施策】は市民ワークショップ及び庁内ワーキングにおける重点施策に位置づけられた施策・取り組み

①豊かな自然を守り活かした環境にやさしいまちづくり

○かけがえのない豊かな自然を市民・地域の財産として後世に残します。

➤不法投棄の監視徹底【重点施策】

➤小岱山に連なる丘陵地における公益的機能（貯水機能、景観保全、生態系維持など）の維持・向上

➤里山環境の保全に向けた維持・管理の取り組み検討

➤営農環境の向上と農地の保全・活用、耕作放棄地の適正管理並びに利活用に向けた支援の実施

○地域住民主体による地域資源を活用した来訪者との交流促進を図ります。

- 本市の環境軸である菊池川や、繁根木川におけるウォーキングコースなどの整備
- 小岱山登山ルート of 再整備並びに誘導サイン・案内サインなどの設置

②豊かな自然環境に囲まれたやすらぎのあるまちづくり

○豊かな自然環境との共生による住環境づくりを展開します。

- 空家・空地の解消及び活用に向けた取り組みの実施【重点施策】**
- 情報通信環境（インターネットなど）の改善（三ツ川地区・石貫地区）【重点施策】**
- 住環境の整備・改善（個人設置型浄化槽設置に対する補助金の交付、水道施設の計画的な更新、老朽化した公園施設の再整備）

○適切な土地利用の誘導による居住環境と営農環境の調和を図ります。

- 既存農地における無秩序な宅地化の防止並びに既存集落への住宅立地の誘導

③みんなの力で進める安全に住み続けられるまちづくり

○自然災害から地域住民の生命、財産を守る防災まちづくりの推進に努めます。

- 繁根木川などにおける河川改修の推進
- 土砂災害警戒区域における段階的な改善対策の推進

④歴史的資源や自然的資源の活用によるつながりのあるまちづくり

○日常の豊かな暮らしを実現するため、市民と行政による協働のまちづくりを推進し、地域コミュニティの維持を図ります。

- 地域農産物などを活かした地域住民と来訪者との交流の場・機会づくりの推進【重点施策】**
- 地域住民や関係団体が一体となって活動する組織に対する支援実施

○地域に根付いた伝統文化を後世に継承するため、連帯感や郷土愛に支えられた元気な地域コミュニティ活動の継続を支援します。

- 公民館・集会所、学校施設などの既存施設を活用した活動拠点の形成【重点施策】**

○九州看護福祉大学と地域の連携による地域コミュニティ活動の活性化を図ります。

- 九州看護福祉大学の学校施設活用などによる地域活動の充実・強化
- 地域まちづくり団体と学生との協働活動の実施並びに大学における市民講座の開催などによる地域と大学との連携によるまちづくりの推進

《凡 例》

青文字：まちづくり方針①「豊かな自然を守り活かした環境にやさしいまちづくり（交流）」に関する事項

赤文字：まちづくり方針②「豊かな自然環境に囲まれたやすらぎのあるまちづくり（快適）」に関する事項

紫文字：まちづくり方針③「みんなの力で進める安全に住み続けられるまちづくり（安全）」に関する事項

緑文字：まちづくり方針④「歴史的資源や自然的資源の活用によるつながりのあるまちづくり（自立）」に関する事項

〈丘陵地に関する事項〉

- ・丘陵地における公益的機能（貯水機能、景観保全、生態系維持など）の維持・向上
- ・里山保全に向けた取り組み検討
- ・小岱山登山ルートの再整備・誘導サインなどの設置
- ・土砂災害警戒区域における段階的な改善対策推進

〈河川空間に関する事項〉

- ・菊池川、繁根木川の良好な河川空間の形成
- ・繁根木川などにおける河川改修の推進

〈地域全体として〉

- ・不法投棄の監視徹底【重点】
- ・営農環境向上と農地保全などに向けた支援実施
- ・耕作放棄地の適正管理・活用
- ・空家・空地の解消・活用【重点】
- ・情報通信環境（インターネットなど）の改善【重点】
- ・個人設置型浄化槽の普及促進
- ・水道施設の計画的な更新
- ・老朽化した公園施設の再整備
- ・既存農地における無秩序な宅地化防止と既存集落への住宅立地誘導
- ・市内外の交流の場・機会づくりの推進【重点】
- ・地域住民、関係団体が一体となった組織に対する支援
- ・コミュニティ活動拠点の形成に向けた既存施設の活用【重点】

〈九州看護福祉大学との関係性〉

- ・九州看護福祉大学の施設を活用した地域活動の充実・強化
- ・地域住民と学生・大学との連携による協働活動の実施

凡	例
〈田園ゾーン〉	〈都市軸〉
 農業地区	 広域連携軸
〈中山間ゾーン〉	 街なか連携軸
 森林地区	 環境軸
〈臨海ゾーン〉	
 有明海及び海岸部	〈拠点〉
 広域幹線道路	 交流拠点
 都市内幹線道路(整備済)	
 生活幹線道路	
 九州新幹線	
 九州縦貫自動車道	
 地域界	
 都市計画区域	

1-2-2 中部地域 ※対象小学校区：玉名町、築山、玉名

(1) 概況 ※ ○○については、本文下及び次頁に写真を掲載

- 市中央部に位置し、地域北側を除いた地区全般において、市街化が進んでいるエリアである。地域の主要な幹線道路としては、国道 208 号と**国道 208 号玉名バイパス**が横断している。また、市役所をはじめとする官公庁施設、玉名中央病院などの医療・福祉施設、観光拠点である**玉名温泉**、交流拠点である**蛇ヶ谷公園**、交通拠点である**新玉名駅**及びＪＲ玉名駅、商業・業務施設、教育施設など、本市の主要な都市機能が集積している。
- 近年では、九州新幹線の全線開業に伴う新玉名駅周辺整備や、新庁舎移転に伴う新たな市街地整備などが計画・実施されている。
- 地域の全てが都市計画区域であり、中心拠点の市街地に用途地域が指定されている。
- 平成 22 年の人口は 23,652 人、人口密度は 11.7 人/ha（市全体 4.6 人/ha）と 6 地域区域の中で最も多い地域である。また、高齢化率は 22%（市全体 28%）と 6 地域の中で最も低い状況にある。
- 第 3 次産業人口の割合は 72%と 6 地域の中で最も高い状況にある。
- 近年の市街化動向は、用途地域内において住宅・商業系、用途地域外では住宅系の新築動向が多く見られる。
- 地域内には、本市の観光拠点である「玉名温泉」を有し、多くの旅館や温泉施設がある。また、温泉街の中心にある「立願寺しらさぎの足湯」では、無料で足湯が楽しめ、また、夜にはライトアップされ幻想的な雰囲気が感じられる空間となっている。
- 地域内の菊池川沿岸にある国の登録記念物である「**ハゼ並木**」は、秋に美しく紅葉し市民に親しまれている。また、北部地域と隣接する玉名地区では、大坊古墳、永安寺東・西古墳が装飾古墳として代表的であり、国の史跡に指定されている。**高瀬地区**は、古くから菊池川の水運を利用した港町、商人の町として発展しており、南北朝時代は菊池氏、戦国時代は大友氏などの勢力下で海外貿易の拠点としても重要な地点であった。江戸時代には、藩の五カ町（熊本、八代、川尻、高瀬、高橋）にも数えられ、肥後北部の拠点として成長した。今日にも昔からある商店が立ち並び、歴史の重みが感じられる町並みを形成している。
- 北部地域に立地し、本市と包括協定を締結している「九州看護福祉大学」は、本地域との結びつきが非常に深くとともに、地域に開かれた交流拠点の一つとして、地域における活動や調査・研究、人材育成、産業振興、地域づくりなど様々な分野でのさらなる相互協力・連携が期待されている。



玉名温泉



蛇ヶ谷公園



新玉名駅



ハゼ並木



高瀬地区



国道 208 号 玉名バイパス

写真一 中部地域の地域資源

（２）本地域における課題

○交流拠点都市の中心部としての拠点性向上（「交流」に関する課題）

…「県北地域の発展を主導する交流拠点都市」の中心部として、また、本市の中心拠点として、多くの来訪者・来街者を受け止める受け皿づくりや、本市全体での交流促進を図るためのソフト・ハード対応を図る必要があります。

○利便性の高い快適な市街地環境の形成（「快適」に関する課題）

…本地域の市街地は、公共・公益サービス、商業・業務サービス、情報発信などの各種機能の維持・集積を図る中心拠点として、さらには、本市における計画的な住宅市街地形成を重点的に進める地区として、さらなる市街地の整備・改善に努める必要があります。

○本市の中核を担う市街地としての防災性向上（「安全」に関する課題）

…大規模災害を想定し、防災拠点の機能を併せ持つ本市の中核を担う地域として、防災機能の向上に努めるとともに、中心拠点～市内各所間のアクセス確保、に努める必要があります。また、地域内の繁根木川流域における浸水被害や、火災、交通事故、犯罪などによる被害を抑制・軽減するため、地域住民と行政が一体となり、安全性の確保に努める必要があります。

○地域資源の活用による地域コミュニティの維持・向上（「自立」に関する課題）

…地域住民と関係団体による連携や、市民と行政との連携により、地域コミュニティを維持する必要があります。

（３）基本的な考え方・テーマ

中部地域のまちづくりのテーマ

自然と調和する 便利で活気あふれる中部地域

(4) 地域まちづくりの方針と主要な施策

※ ○○は市民ワークショップ意見反映箇所

※ 【重点施策】は市民ワークショップ及び庁内ワーキングにおける重点施策に位置づけられた施策・取り組み

①「県北地域の発展を主導する交流拠点都市」の中心部としてふさわしい交流活動の展開

- | | |
|--|--|
| <p>○かけがえのない豊かな自然を市民・地域の財産として後世に残します。</p> <p>○本市の交流拠点として、市民の健康推進や地域コミュニティの活性化に寄与するよう施設の充実を図ります。</p> <p>○本市の主要な機能・施設が集積する地域として、市民・来訪者による活発な交流活動の場づくりに努めます。</p> <p>○本市の観光拠点として、来訪者・観光客との交流の場づくりに努めます。</p> | <p>➤小岱山に連なる丘陵地における公益的機能（貯水機能、景観保全、生態系維持など）の維持・向上</p> <p>➤不法投棄の監視徹底</p> <p>➤蛇ヶ谷公園の計画的な整備・改善【重点施策】</p> <p>➤現玉名市役所周辺における利便性の高いにぎわいのある市街地の形成【重点施策】</p> <p>➤「新玉名駅周辺地域等整備基本計画」に基づく各種機能の立地誘導【重点施策】</p> <p>➤本市の環境軸である菊池川や、繁根木川における河川空間とまち空間の融合が図られた良好な空間形成及びイベント会場としての活用【重点施策】</p> <p>➤JR玉名駅周辺におけるユニバーサルデザインに配慮した交通結節機能の向上【重点施策】</p> <p>➤境川の計画的な整備推進及びより良い河川環境の向上</p> <p>➤大規模空閑地における土地の有効活用</p> <p>➤新庁舎周辺における歴史博物館こころピア、玉名市民会館などの文化施設の機能維持の検討</p> <p>➤庁舎立地に伴う行政サービス機能の集積・強化</p> <p>➤既存商店街における快適な歩行空間の確保や統一感のある街並み景観形成に対する支援実施</p> <p>➤玉名温泉街の集客増加に向けた各種取り組みの実施【重点施策】</p> <p>➤<u>各種団体が連携した集客事業の展開（観光・温泉マップの統合及び拡充など）</u></p> |
|--|--|

②本市中心部としてふさわしい都市機能の維持・向上と良好な市街地の形成による住み続けたいまちづくり

- | | |
|---|--|
| <p>○適切な土地利用の誘導による居住環境と営農環境の調和を図ります。</p> | <p>➤無秩序な宅地化の防止と既成市街地への住宅立地の誘導並びに居住環境の質的向上</p> <p>➤営農環境の向上と農地の保全・活用、耕作放棄地の適正管理並びに利活用に向けた支援の実施</p> |
|---|--|

○誰もがいきいきと生活できる快適な住環境づくりに努めます。

- 県道玉名立花線整備に向けた県との協働による検討の実施
- 「玉名市公営住宅等長寿命化計画」に基づく公営住宅の建設や老朽化が著しい既設公営住宅などの改修
- 国道 208 号高瀬大橋交差点における渋滞解消対策の検討
- 住環境の整備・改善（公共下水道の整備推進、雨水管路の整備推進、個人設置型浄化槽設置に対する補助金の交付、水道施設の計画的な更新、老朽化した公園施設の再整備）
- 空家・空地の解消及び活用に向けた取り組みの実施

○誰もが安心・快活に暮らし続けることができる福祉のまちづくりを進めます。

- **福祉施策との連携による誰もが安心して暮らせる住宅施策の展開【重点施策】**

③本市の中核を担う地域としての防災まちづくりの推進

○本市の中核を担う地域として、「安心安全都市 玉名」の実現に向けた防災まちづくりの推進に努めます。

- 高齢者や観光客などの歩行者が多い地域などにおける「人」の視点に立った交通安全対策の推進
- 大規模地震の発生に備えた建築物の耐震化、耐火・不燃化並びに老朽密集市街地の環境改善の促進
- 避難所や医療機関などへの緊急輸送道路（通行機能）確保の推進

④地域固有の歴史・文化と福祉の要素を取り入れた、地域が元気になるまちづくり

○日常の豊かな暮らしを実現するため、市民と行政による協働のまちづくりを推進し、地域コミュニティの維持を図ります。

- 地域住民や関係団体が一体となって活動する組織に対する支援実施

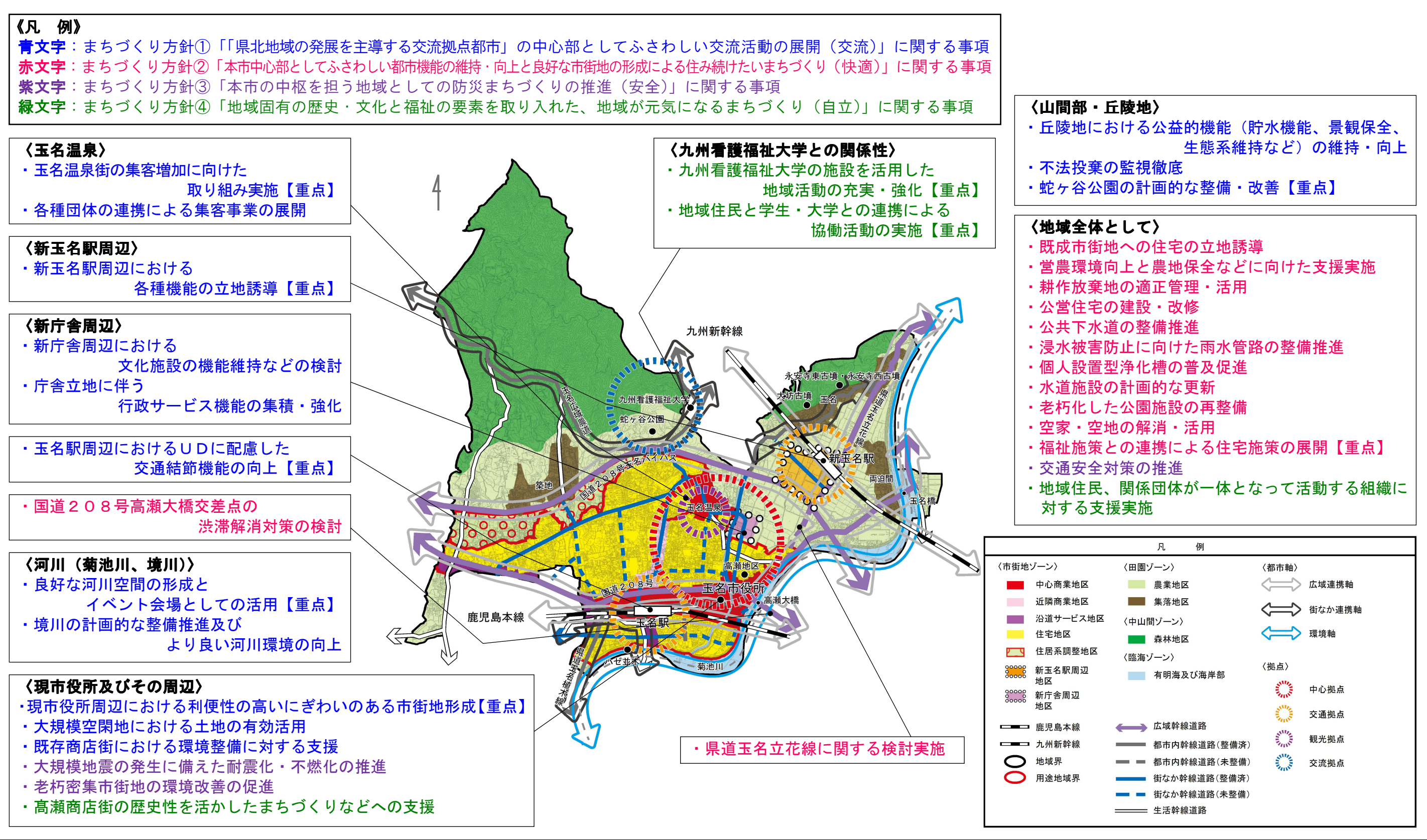
○地域に根付いた伝統文化を後世に継承するため、連帯感や郷土愛に支えられた元気な地域コミュニティ活動の継続を支援します。

- 高瀬商店街における地域の伝統、まつり、コミュニティなどの特性を取り入れた空間の形成や集客事業の展開及び情報発信に対する支援の実施

○九州看護福祉大学と地域の連携による地域コミュニティ活動の活性化を図ります。

- **九州看護福祉大学の学校施設活用などによる地域活動の充実・強化【重点施策】**
- 地域まちづくり団体と学生との協働活動の実施並びに大学における市民講座の開催などによる地域と大学との連携によるまちづくりの推進【重点施策】

図一 中部地域まちづくり方針図 **自然と調和する 便利で活気あふれる中部地域**



1-2-3 西部地域 ※対象小学校区：滑石、睦合、大野、高道、鍋

(1) 概況 ※ 〇〇については、本文下に写真を掲載

- 市西部の荒尾市、長洲町との隣接部、有明海沿岸部に位置し、岱明自治区を中心とした菊池川右岸のエリアである。**岱明支所**を中心に、地域の主要な動線である国道 501 号沿道及び県道長洲岱明線沿道に市街地が形成されているが、地域の大半は田畑などの田園地帯が広がる自然に恵まれた地域である。
- 地域の中央部を東西方向に走る J R 鹿児島本線には、**J R 大野下駅**が立地しており、人が集まる地域コミュニティの場としても活用されている。
- 地域南側の有明海沿岸部には、交流拠点である**松原海水浴場**を有している。
- 平成 22 年の人口は 17,004 人、人口密度は 6.0 人/ha と市全体 (4.6 人/ha) に比べてやや高い状況にある。また、高齢化率は 30% と市全体 (28%) に比べてやや高い状況にある。
- 第 2 次産業人口の割合は 32% と 6 地域の中で最も高く、また、田園地帯における農業、有明海沿岸部における水産業といった第 1 次産業も盛んな地域である。
- 地域の全てが都市計画区域であり、生活拠点の市街地に用途地域が指定されている。
- 用途地域内とその周辺に都市計画道路が配置されている。国道 501 号と国道 208 号を直線的に結ぶ**都市計画道路岱明玉名線**については、平成 30 年度の供用開始を目指し、整備を進めている。都市公園は用途地域外に多い。上水道については、地域のほぼ全域で普及している。下水道などについては、睦合地区、大野地区、鍋地区、高道地区で公共下水道による整備が進められており、滑石地区は計画区域外のため、個人設置型浄化槽による整備が進められている。
- 近年の市街化動向は、用途地域外の方が用途地域内に比べて活発であり、住宅・商業系の新築動向が多く見られる。
- 地域内には、国登録記念物である菊池川のハゼ並木や国指定天然記念物の「大野下の大ソテツ」、加藤清正公の土木遺構である「行末塘」、農業用水確保のために整備された「**浮田池**」、開田宮崎八幡宮、滑石諏訪神社といった寺社や菊池川河口部における「晒の港」など、数多くの地域資源が点在している。



岱明支所



J R 大野下駅



松原海水浴場



都市計画道路岱明玉名線



浮田池

写真一 西部地域の地域資源

(2) 本地域における課題

○地域資源の活用による新たなにぎわいの創出（「交流」に関する課題）

…地域内に点在する数々の歴史的資源や豊かな自然環境などを地域の財産として後世に継承するとともに、新たなにぎわいを創出する地域資源としてさらなる活用を図る必要があります。

○市街地としての利便性と居住地としての快適性の維持（「快適」に関する課題）

…岱明支所を中心とした市街地においては、本市西部の地域拠点としての各種市民サービス機能の維持・改善や本市中心部への交通アクセス性の向上を図るとともに、既存集落においては、落ち着いたある快適な住環境を維持する必要があります。

○安全で安心できる暮らしの実現（「安全」に関する課題）

…境川流域における浸水被害や有明海沿岸部の高潮被害などといった自然災害や、火災、交通事故、犯罪などによる被害を抑制・軽減するため、地域住民と行政が一体となり、安全性の確保に努める必要があります。

○伝統文化の継承による地域コミュニティの維持・向上（「自立」に関する課題）

…神事や祭りなどの地域に根付いた伝統文化を後世に継承するとともに、地域住民と行政が一体となり、地域コミュニティを維持する必要があります。

(3) 基本的な考え方・テーマ

西部地域のまちづくりのテーマ

地域資源に包まれ つながりが強い西部地域

(4) 地域まちづくりの方針と主要な施策

※ ○○は市民ワークショップ意見反映箇所

※ 【重点施策】は市民ワークショップ及び庁内ワーキングにおける重点施策に位置づけられた施策・取り組み

①地域資源(祭り、海、山、並木)を見つめ直し、活用したまちづくり

○かけがえのない豊かな自然を市民・地域の財産として後世に残します。

- 小岱山に連なる丘陵地における公益的機能（貯水機能、景観保全、生態系維持など）の維持・向上
- 営農環境の向上と農地の保全・活用、耕作放棄地の適正管理並びに利活用に向けた支援の実施
- 不法投棄の監視徹底

○本市の交流拠点として、市民の健康推進や地域コミュニティの活性化に寄与するよう施設の充実を図ります。

➤ **松原海水浴場における交流拠点としての機能維持並びに利用増進に向けた整備などの検討【重点施策】**

- 岱明中央公園グラウンドの機能の充実
- 浮田池周辺における交流拠点としての利用促進に向けた検討の実施

○地域住民主体による地域資源を活用した来訪者との交流促進を図ります。

➤ **有明海の水質保全と海岸線の保全・活用に向けた環境勉強会などの開催【重点施策】**

- 地元農水産物などを活用した生産から加工、販売までを実施する事業者に対する支援実施
- 地域主体による地域資源マップ（施設、イベントなど）の作成や各種観光施設（開田ほたるの里、日嶽、松原海岸など）の改善、イベントバスの運行、誘導サイン・案内サインの設置などによる交流促進活動の支援

②豊かな地域資源に包まれた、潮風とみどり薫る暮らしやすいまちづくり

○誰もがいきいきと生活できる快適な住環境づくりに努めます。

➤ **本地域と本市中心市街地（国道 208 号）へのアクセス路線である都市計画道路岱明玉名線の整備推進【重点施策】**

- 住環境の整備・改善（「公共下水道の整備推進、個人設置型浄化槽設置に対する補助金の交付、水道施設の計画的な更新、老朽化した公園施設の再整備」）
- 国道 208 号玉名バイパスの流入箇所における渋滞解消対策の検討
- 有明海沿岸道路（Ⅱ期、熊本市～大牟田市間）の候補路線から計画路線への格上げを要望する活動の継続実施
- 空家・空地の解消及び活用に向けた取り組みの実施
- 「花の都 玉名」づくりを活かした国道 501 号の沿道景観整備の検討

○適切な土地利用の誘導による居住環境と営農環境の調和を図ります。

➤ 既存農地における無秩序な宅地化の防止と既成市街地への住宅立地の誘導

○誰もが安心・快活に暮らし続けることができる福祉のまちづくりを進めます。

➤ **路線バスの運行維持が困難な地域や公共交通空白地域における地域密着型の公共交通（コミュニティバス・乗合タクシーなど）の導入検討・展開【重点施策】**

③みんなの力で進める安全に住み続けられるまちづくり

○自然災害から地域住民の生命、財産を守る防災まちづくりの推進に努めます。

- 滑石地区などの住宅密集地における生活道路の整備を視野に入れた交通安全対策の推進【重点施策】
- 生活道路における事故抑止対策の実施【重点施策】
- ハード・ソフト一体となった津波・高潮対策の推進
- 岱明中央公園グラウンドにおける広域避難場所としての機能充実
- 地域住民が参加しやすい工夫を凝らした防災訓練の実施

④地域のまとまりが強く、地域みんなで元気になるまちづくり

○日常の豊かな暮らしを実現するため、市民と行政による協働のまちづくりを推進し、地域コミュニティの維持を図ります。

- 地域主体による伝統行事や自主活動（滑石地区ふれあいデー、地区対抗スポーツイベントなど）の開催に対する支援
- 地域住民や関係団体が一体となって活動する組織に対する支援実施
- 地域ネットワーク及び個々の団体などの活動促進に向けた公民館・集会所、学校施設などの既存施設を活用した活動拠点の形成

図一西部地域まちづくり方針図 **地域資源に包まれ つながりが強い西部地域**

《凡 例》

青文字：まちづくり方針①「地域資源（祭り、海、山、並木）を見つめ直し、活用したまちづくり（交流）」に関する事項
赤文字：まちづくり方針②「豊かな地域資源に包まれた、潮風とみどり薫る暮らしやすいまちづくり（快適）」に関する事項
紫文字：まちづくり方針③「みんなの力で進める安全に住み続けられるまちづくり（安全）」に関する事項
緑文字：まちづくり方針④「地域のまとまりが強く、地域みんなで元気になるまちづくり（自立）」に関する事項

〈地域全体として〉

- ・ 営農環境向上と農地保全・活用に向けた支援実施
- ・ 耕作放棄地の適正管理・活用
- ・ 地元農水産物の活用に対する支援実施
- ・ イベントバス運行や誘導サイン設置などの交流促進活動への支援
- ・ 公共下水道の整備推進
- ・ 個人設置型浄化槽の普及促進
- ・ 水道施設の計画的な更新
- ・ 老朽化した公園施設の再整備
- ・ 有明海沿岸道路（Ⅱ期）の延伸整備の要望
- ・ 空家・空地の解消・活用
- ・ 既成市街地への住宅の立地誘導
- ・ 地域密着型の公共交通の導入検討・展開【重点】
- ・ 滑石地区における交通安全対策の推進【重点】
- ・ 生活道路での事故抑止対策の実施【重点】
- ・ ハード・ソフト一体となった津波・高潮対策の推進
- ・ 地域住民が参加しやすい防災訓練の実施
- ・ 地域主体の伝統行事や自主活動開催に対する支援
- ・ 地域住民、関係団体が一体となって活動する組織に対する支援実施
- ・ コミュニティ活動拠点の形成に向けた既存施設の活用

・ 浮田池周辺の利用促進に向けた検討

・ 国道 208 号玉名バイパス流入箇所における渋滞解消対策の検討

・ 岱明中央公園グラウンドの機能の充実

・ 都市計画道路岱明玉名線の整備推進【重点】

・ 松原海水浴場の利用増進に向けた整備の検討【重点】
・ 有明海の水質保全と海岸線の保全・活用に向けた勉強会開催【重点】

・ 「花の都 玉名」づくりを活かした国道 501 号の沿道景観整備の検討

凡 例			
〈市街地ゾーン〉		〈都市軸〉	
近隣商業地区	農業地区	広域連携軸	
商業系調整地区	集落地区	街なか連携軸	
住宅地区	〈中山間ゾーン〉	環境軸	
住居系調整地区	森林地区		
〈臨海ゾーン〉		〈拠点〉	
有明海及び海岸部		地域拠点	
		交流拠点	
鹿児島本線	広域幹線道路		
地域界	都市内幹線道路(整備済)		
用途地域界	都市内幹線道路(未整備)		
	街なか幹線道路(整備済)		
	街なか幹線道路(未整備)		
	生活幹線道路		



1-2-4 東部地域 ※対象小学校区：伊倉、八嘉、小田、梅林

(1) 概況 ※ ○○については、本文下に写真を掲載

- 玉東町、和水町と隣接する市東部に位置し、菊池川をはじめ地域を構成する山々や田畑を中心とした農地などの自然的資源に恵まれたエリアである。
- 本地域の主要な動線である国道 208 号沿道や県道熊本玉名線沿道に市街地や集落が形成され、中央部を東西方向に走る J R 鹿児島本線にはJ R 肥後伊倉駅が立地する。
- 地域の全てが都市計画区域であり、地域中央を通る国道 208 号線沿道の市街地に用途地域が指定されている。
- 地域内に都市計画道路は配置されていない。都市公園は、交流拠点である桃田運動公園（総合公園）が整備されている。上水道については、山間部を除き、ほぼ地域全般において整備されているが、下水道などについては、計画区域外であるため、個人設置型浄化槽による整備が進められている。
- 平成 22 年の人口は 10,280 人、人口密度は 3.5 人/ha と市全体（4.6 人/ha）に比べてやや低い状況にある。また、高齢化率は 32%（市全体 28%）と 6 地域の中で最も高い地域である。
- 第 2 次産業や第 3 次産業人口の割合が市全体よりもやや高い。
- 近年の市街化動向は、用途地域外の方が用途地域内に比べて活発であり、住宅系の新築動向が多く見られる。
- 地域内には、梅林天満宮が所在し、江戸時代に建築された本殿・拝殿・楼門・鳥居が国の登録文化財となっている。伊倉地区は、中世において、高瀬地区とともに海外貿易港として発展し、伊倉北・南八幡宮といった寺社や、数多くの歴史的資源が点在している。



菊池川



J R 肥後伊倉駅



桃田運動公園



梅林天満宮



伊倉地区（伊倉ふれあい仁○加館）

写真一 東部地域の地域資源

（２）本地域における課題

○地域資源の継承と新たなにぎわいの創出（「交流」に関する課題）

…地域内に点在する数々の歴史的資源などを地域の財産として後世に継承するとともに、新たなにぎわいを創出する地域資源としてさらなる活用を図る必要があります。

○市街地としての利便性と居住地としての快適性の維持（「快適」に関する課題）

…国道 208 号沿道や県道熊本玉名線沿道の市街地においては、地域住民の生活利便サービス機能の維持・向上を図るとともに、既存集落においては、空地・空家（廃屋）の増加や人口減少・高齢化に対応した、落ち着いたある快適な住環境を維持する必要があります。

○安全で安心できる暮らしの実現（「安全」に関する課題）

…木葉川流域における浸水被害、木葉山に連なる丘陵地における土砂災害などといった自然災害や、火災、交通事故、犯罪などによる被害を抑制・軽減するため、地域住民と行政が一体となり、安全性の確保に努める必要があります。

○伝統文化の継承による地域コミュニティの維持・向上（「自立」に関する課題）

…地域に根付いた伝統文化を後世に継承するとともに、日常の豊かな暮らしを実現するため、地域住民と行政が一体となり、地域コミュニティを維持する必要があります。

（３）基本的な考え方・テーマ

東部地域のまちづくりのテーマ

自然と歴史を感じ 安心して生活ができる東部地域

（４）地域まちづくりの方針と主要な施策

※ ○○は市民ワークショップ意見反映箇所

※ 【重点施策】は市民ワークショップ及び庁内ワーキングにおける重点施策に位置づけられた施策・取り組み

①森の緑と川に囲まれた田園環境のうろおいが残る人が集うまちづくり

○かけがえのない豊かな自然を市民・地域の財産として後世に残します。

○本市の交流拠点として、市民の健康推進や地域コミュニティの活性化に寄与するよう施設の充実を図ります。

➤ **営農環境の向上と農地の保全・活用、耕作放棄地の適正管理並びに利活用に向けた支援の実施【重点施策】**

➤ 丘陵地における公益的機能（貯水機能、景観保全、生態系維持など）の維持・向上
➤ 不法投棄の監視徹底

➤ 桃田運動公園の利便性の向上及び機能の充実

○地域住民主体による地域資源を活用した来訪者との交流促進を図ります。

➤ 地域主体による地域資源（梅林天満宮、伊倉南北両八幡宮、伊倉仁○加館など）をめぐりコースの設定・紹介、農家民泊・農業体験の企画・運営並びに各種イベントの開催などといった地域資源の活用による交流促進活動に対する支援【重点施策】

➤ 本市の環境軸である菊池川における地域の景観、歴史、文化などを活かした河川空間とまち空間の融合による良好な河川空間の形成（遊歩道、ウォーキングコースの設定）

➤ 集落内に点在する歴史的建造物（梅林天満宮、伊倉南北両八幡宮など）や伊倉仁○加・神楽をはじめとした伝統芸能などの保全・継承並びに観光・交流資源としての活用

②豊かな自然と歴史を身近に感じることができる暮らしやすいまちづくり

○誰もがいきいきと生活できる快適な住環境づくりに努めます。

➤ 国道 208 号高瀬大橋交差点における渋滞解消対策の検討

➤ 住環境の整備・改善（個人設置型浄化槽設置に対する補助金の交付、水道施設の計画的な更新、老朽化した公園施設の再整備）

➤ 空家・空地の解消及び活用に向けた取り組みの実施

➤ 山間部の集落地などにおける広場などの整備

○適切な土地利用の誘導による居住環境と営農環境の調和を図ります。

➤ 無秩序な宅地化の防止と既成市街地への住宅立地の誘導

○誰もが安心・快活に暮らし続けることができる福祉のまちづくりを進めます。

➤ 超高齢社会への対応や子育て世帯への支援に向けた賃貸住宅の立地誘導【重点施策】

➤ 高齢者や障がいのある人の意見を活かしたバリアフリー対策の推進【重点施策】

③みんなの力で進める安全に住み続けられるまちづくり

○自然災害から地域住民の生命、財産を守る防災まちづくりの推進に努めます。

➤ 土砂災害警戒区域における段階的な改善対策の推進

➤ 桃田運動公園における広域避難場所としての機能充実

➤ 通学路などの生活道路における事故抑止対策の実施

④誰もが安心して生活できる地域のつながりを大切にしまちづくり

○日常の豊かな暮らしを実現するため、市民と行政による協働のまちづくりを推進し、地域コミュニティの維持を図ります。

○地域に根付いた伝統文化を後世に継承するため、連帯感や郷土愛に支えられた元気な地域コミュニティ活動の継続を支援します。

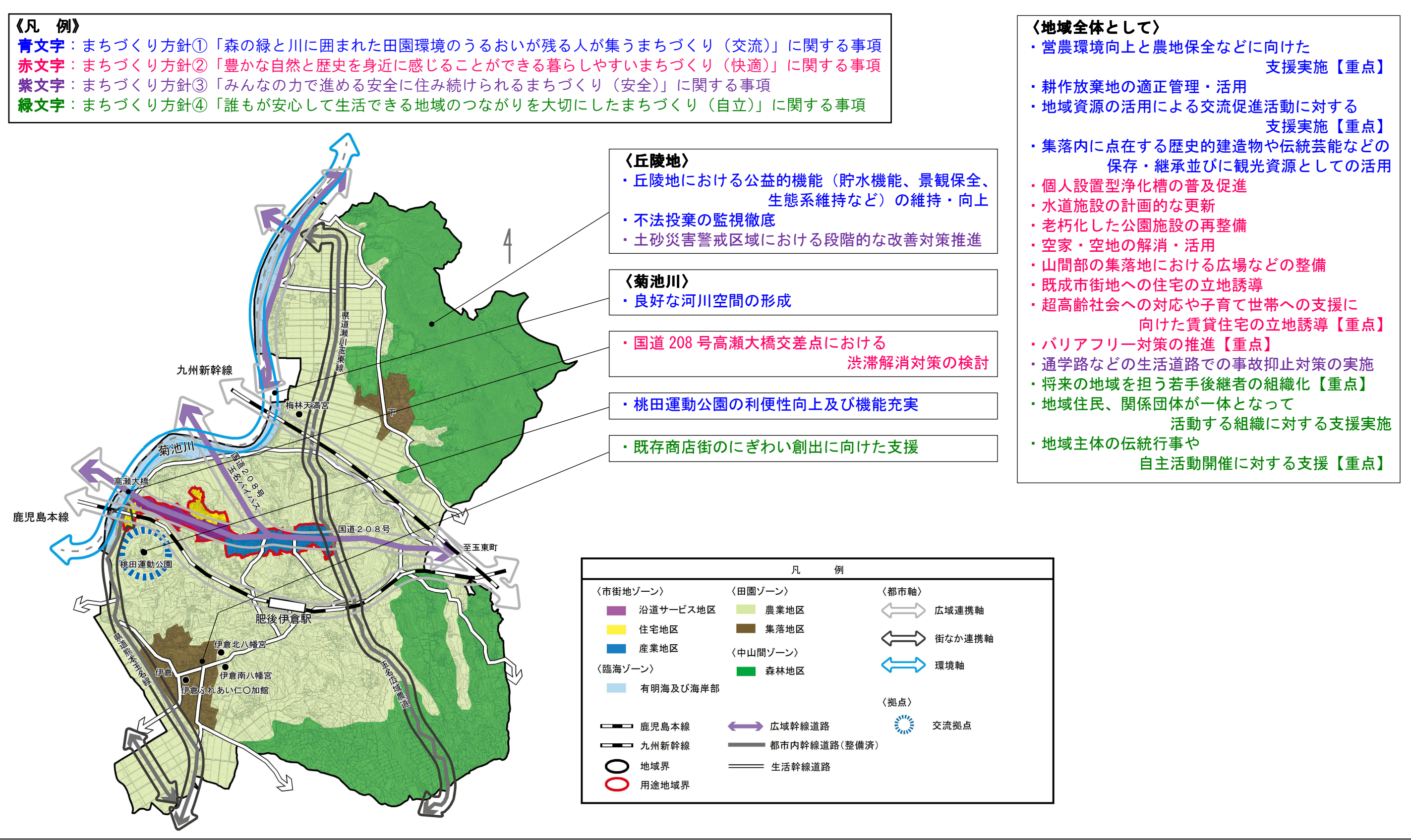
➤ 将来の地域を担う若手後継者の組織化に向けた取り組みの実施【重点施策】

➤ 地域住民や関係団体が一体となって活動する組織に対する支援実施

➤ 地域主体による伝統行事や自主活動（花いっぱい運動、里山づくり、ビオトープづくりなど）の開催を支援【重点施策】

➤ 既存商店街における商店街活動の維持・継続に向けた後継者育成並びににぎわい再生・創出に向けたイベント開催（夜市の企画・運営など）支援の実施

図一 東部地域まちづくり方針図 **自然と歴史を感じ 安心して生活ができる東部地域**



1-2-5 南部地域 ※対象小学校区：豊水、大浜、横島

(1) 概況 ※ ○○については、本文下に写真を掲載

- 市南部の有明海沿岸部に位置し、横島自治区を中心とした菊池川左岸のエリアである。横島支所を中心に、地域の主要な動線である国道 501 号沿道に市街地が形成されているが、地域の大半は干拓による田園地帯が広がり、自然に恵まれた地域である。
- 有明中学校区により構成された地域であり、地域内の人のつながりが深い地域でもある。
- 平成 22 年の人口は 9,476 人、人口密度は 3.3 人/ha と、市全体（4.6 人/ha）に比べてやや低い状況にある。また、高齢化率は 30%と市全体（28%）に比べてやや高い状況にある。
- 第 1 次産業人口の割合が 6 地域の中で 2 番目に高く、本地域に広がる広大な田園地帯では、イチゴやトマト、ミニトマトなどの施設園芸や稲作などが大変盛んである。
- 地域内の横島地区を除くエリアについては、都市計画区域に指定されているが、用途地域は未指定である。
- 地域内に都市計画道路は配置されておらず、都市緑地は 1 箇所（松原河川緑地）整備されている。上水道については、都市計画区域内（豊水地区、大浜地区）及び横島地区の一部（昭栄地区）が整備されている。下水道などについては、横島地区のみ農業集落排水事業により整備されており、豊水地区、大浜地区は個人設置型浄化槽による整備が進められている。
- 近年の市街化動向は、都市計画区域外（横島地区）での新築動向が、都市計画区域内（大浜町・豊水地区）よりも活発である。
- 地域内には、干拓関係の遺産として、加藤清正公の土木遺構である「石塘・石塘樋門」や、国指定重要文化財の「旧玉名干拓施設」が所在する。また、大浜町には江戸時代以降高瀬の外港として船運業が栄えた趣のある「廻船問屋街」や太平洋戦争中に建設された「大浜飛行場及び関連施設跡」など、数多くの歴史的資源が点在している。



横島支所



干拓による田園地帯



石塘・石塘樋門



旧玉名干拓施設



廻船問屋街

写真一 南部地域の地域資源

（２）本地域における課題

○豊かな自然環境や数々の歴史的資源の保全・活用（「交流」に関する課題）

…干拓による田園地帯や有明海、菊池川などの豊かな自然環境や、イチゴやトマト、アサリや海苔などの農水産物、地域内に点在する数々の歴史的資源などを地域の財産として後世に継承するとともに、新たなにぎわいを創出する地域資源としてさらなる活用を図る必要があります。

○市街地としての利便性と居住地としての快適性の維持（「快適」に関する課題）

…横島支所を中心とした市街地においては、本市南部の地域拠点としての各種市民サービス機能の維持・改善や本市中心部への交通アクセス性の向上を図るとともに、既存集落においては、落ち着きのある快適な住環境を維持する必要があります。

○安全で安心できる暮らしの実現（「安全」に関する課題）

…ゲリラ豪雨や台風を起因とした菊池川、唐人川の河川氾濫や有明海沿岸部の高潮被害、横島山の土砂災害などといった自然災害や、火災、交通事故、犯罪などによる被害を抑制・軽減するため、地域住民と行政が一体となり、安全性の確保に努める必要があります。

○地域資源の活用による地域コミュニティの維持・向上（「自立」に関する課題）

…神楽や祭りなどの地域に根付いた伝統文化を後世に継承するとともに、日常の豊かな暮らしを実現するため、地域住民と行政が一体となり、地域コミュニティを維持する必要があります。

（３）基本的な考え方・テーマ

南部地域のまちづくりのテーマ

自然と共生した 歴史・文化を感じる南部地域

（４）地域まちづくりの方針と主要な施策

※ ○○は市民ワークショップ意見反映箇所

※ 【重点施策】は市民ワークショップ及び庁内ワーキングにおける重点施策に位置づけられた施策・取り組み

①自然環境の保全と地域資源としての活用による豊かな自然と共生したまちづくり

○かけがえのない豊かな自然を市民・地域の財産として後世に残します。

- 有明海の水質保全と海岸線の保全・活用
- 営農環境の向上と農地の保全・活用、耕作放棄地の適正管理並びに利活用に向けた支援の実施
- 不法投棄の監視徹底
- 豊かな自然景観の保護・保全に向けた景観勉強会の開催

○地域住民主体による地域資源を活用した来訪者との交流促進を図ります。

- 地域主体による地域資源マップ（歴史・観光マップ、イベントなど）の作成や誘導サイン・案内サインの設置、集客イベントの企画・運営（菊池川でのリバーウォーキング、旧玉名干拓施設を活用したPRイベントなど）の支援【重点施策】
- 地域住民や民間企業が参画し、官民一体が協働で進める景観づくりの推進【重点施策】
- イチゴ・トマト・ミニトマト及びアサリや海苔などの地域を代表する農水産物などを活かした観光産業の振興

②豊かな田園風景に囲まれたゆとりと潤いのある住み続けたいまちづくり

○誰もがいきいきと生活できる快適な住環境づくりに努めます。

- 本地域より本市中心市街地（JR玉名駅方面）への交通アクセス機能の向上【重点施策】
- 交通渋滞箇所（国道208号高瀬大橋交差点等）の渋滞解消対策の検討【重点施策】
- 菊池川堤防工事における空地の公園化の推進（大浜町）【重点施策】
- 横島グラウンド及びその周辺における機能の集積・充実
- 有明海沿岸道路（Ⅱ期、熊本市～大牟田市間）の候補路線から計画路線への格上げを要望する活動の継続実施
- 住環境の整備・改善（農業集落排水の普及促進、個人設置型浄化槽設置に対する補助金の交付、水道施設の計画的な更新、老朽化した公園施設の再整備）
- 空家・空地の解消及び活用に向けた取り組みの実施

○適切な土地利用の誘導による居住環境と営農環境の調和を図ります。

- 既存農地における無秩序な宅地化の防止並びに既存集落への住宅立地の誘導

○誰もが安心・快活に暮らし続けることができる福祉のまちづくりを進めます。

- 路線バスの運行維持が困難な地域や公共交通空白地域における地域密着型の公共交通（乗合タクシーなど）の導入検討・展開

③みんなの力で進める安全に住み続けられるまちづくり

○自然災害から、地域住民の生命、財産を守る防災まちづくりの推進に努めます。

- ハード・ソフト一体となった津波・高潮対策の推進
- 土砂災害警戒区域における段階的な改善対策の推進
- 横島グラウンドにおける広域避難場所としての機能充実

④歴史・文化が感じられる地域が元気になるまちづくり

- 日常の豊かな暮らしを実現するため、市民と行政による協働のまちづくりを推進し、地域コミュニティの維持を図ります。
 - 神楽や祭りなどの地域に根付いた伝統文化を後世に継承するため、連帯感や郷土愛に支えられた元気な地域コミュニティ活動の継続を支援します。
- 地域住民や関係団体がともに活動する「校区コミュニティ協議会（仮称）」の設置検討
 - 地域主体による伝統行事（祭り、神楽など）並びに自主活動（地域の民話発掘・紹介、花いっぱい運動など）の保存に対する支援の実施【重点施策】**
 - 既存の商店街における商店街活動の維持・継続に向けた後継者育成並びににぎわい再生・創出に向けた取り組みに対する支援の実施

《凡 例》

青文字：まちづくり方針①「自然環境の保全と地域資源としての活用による豊かな自然と共生したまちづくり（交流）」に関する事項

赤文字：まちづくり方針②「豊かな田園風景に囲まれたゆとりと潤いのある住み続けたいまちづくり（快適）」に関する事項

紫文字：まちづくり方針③「みんなの力で進める安全に住み続けられるまちづくり（安全）」に関する事項

緑文字：まちづくり方針④「歴史・文化が感じられる地域が元気になるまちづくり（自立）」に関する事項



- ・土砂災害警戒区域における
段階的な改善対策推進
- ・横島グラウンド及びその周辺における
機能の集積・充実
- ・有明海の水質保全と海岸線の保全・活用

凡	例
〈田園ゾーン〉  農業地区  集落地区 〈臨海ゾーン〉  有明海及び海岸部	〈都市軸〉  広域連携軸  街なか連携軸  環境軸
 広域幹線道路  都市内幹線道路(整備済)  生活幹線道路  地域界  都市計画区域	〈拠点〉  地域拠点

- 〈地域全体として〉

 - ・ 営農環境向上と農地保全・活用に向けた支援実施
 - ・ 耕作放棄地の適正管理・活用
 - ・ 不法投棄の監視徹底
 - ・ 豊かな自然環境保護や景観形成に関する勉強会開催
 - ・ 地域資源マップの作成・誘導サインの設置・
集客イベントの支援【重点】
 - ・ 地域住民・民間企業の参画による
景観づくりの推進【重点】
 - ・ 地元農水産物を活用した観光産業の振興
 - ・ 本市中心市街地（ＪＲ玉名駅方面）への
交通アクセス機能の向上【重点】
 - ・ 交通渋滞箇所（国道 208 号高瀬大橋交差点等）の
渋滞解消対策の検討【重点】
 - ・ 菊池川堤防工事における空地の公園化【重点】
 - ・ 有明海沿岸道路（Ⅱ期）の延伸整備の要望
 - ・ 農業集落排水の普及促進
 - ・ 個人設置型浄化槽の普及促進
 - ・ 水道施設の計画的な更新
 - ・ 老朽化した公園施設の再整備
 - ・ 空家・空地の解消・活用
 - ・ 既存集落への住宅の立地誘導
 - ・ 地域密着型の公共交通の導入検討・展開
 - ・ ハード・ソフト一体となった
津波・高潮対策の推進
 - ・ 「校区コミュニティ協議会（仮称）」の
設置検討
 - ・ 地域福祉活動の担い手及び団体の育成・支援
 - ・ 地域主体の伝統行事や
自主活動開催に対する支援【重点】
 - ・ 既存商店街活動の維持・継続に向けた
後継者育成及びにぎわい創出に向けた支援

1-2-6 南東部地域 ※対象小学校区:玉水、小天、小天東

(1) 概況 ※ 〇〇については、本文下に写真を掲載

- 熊本市、玉東町と隣接する市南東部に位置し、天水自治区により構成される、金峰山系の熊ノ岳・三ノ岳の緩やかな傾斜面を活用した果樹栽培が盛んな中山間地と田園地帯からなる自然的資源に恵まれたエリアである。
- 天水中学校区により構成された地域であり、地域内の人のつながりが深い地域でもある。
- 天水支所を中心に、県道熊本玉名線沿道に市街地が形成されており、その他主要な動線として、国道 501 号が地区を南北方向に配置されている。
- 本地域は都市計画区域外であり、地域南東部の丘陵地は県立自然公園に指定されている。
- 平成 22 年の人口は 6,509 人、人口密度は 3.0 人/ha と市全体 (4.6 人/ha) に比べてやや低い状況にある。また、高齢化率も 31% と市全体 (28%) に比べて高い状況にある。
- 第 1 次産業人口の割合が 6 地域の中で最も高く、本地域に広がる田園地帯では、イチゴ・トマト・ミニトマトの施設園芸や稲作、また、有明海を望む天水地区の丘陵地では、全国でもトップクラスの生産量を誇るみかんの産地である。
- 近年の市街化動向は、住居系の新築動向が活発である。
- 地域内に都市計画道路、都市緑地は配置されていない。上水道などについては、地域内の一部が簡易水道により整備されている。下水道などについては、地域内の一部(玉水地区の一部)が農業集落排水事業により整備されており、その他の地区は市町村設置型浄化槽による整備が進められている。
- 地域内には、夏目漱石の小説「草枕」の舞台となった「前田家別邸」をはじめ、「草枕温泉てんすい」、「草枕交流館」などの交流施設や風光明媚な有明海を見渡せる「実山展望公園」、また、平成の名水百選にも選ばれる「尾田の丸池」や俳優「笠 智衆」の生家など、地域の歴史と豊かな自然を感じることができる地域資源が数多く点在している。



天水支所



前田家別邸



草枕温泉てんすい



実山展望公園



尾田の丸池

写真一 南東部地域の地域資源

（２）本地域における課題

○豊かな観光資源の保全・活用による交流促進（「交流」に関する課題）

…本市の観光拠点として位置づけられる小天温泉をはじめ、地域内に点在する数々の歴史的資源、観光資源などのさらなる活用を図るため、多くの来訪者・来街者を受け止める受け皿づくりや、交流促進を図るためのソフト・ハード対応を図る必要があります。

○市街地としての利便性と居住地としての快適性の維持（「快適」に関する課題）

…天水支所を中心とした市街地においては、本市南部の地域拠点としての各種市民サービス機能の維持・改善や本市中心部への交通アクセス性の向上を図るとともに、既存集落においては、落ち着きのある快適な住環境を維持する必要があります。

○安全で安心できる暮らしの実現（「安全」に関する課題）

…住宅地や水田地帯の浸水被害や金峰山系の急傾斜地における土砂災害などといった自然災害や、火災、交通事故、犯罪などによる被害を抑制・軽減するため、地域住民と行政が一体となり、安全性の確保に努める必要があります。

○地域資源の活用による地域コミュニティの維持・向上（「自立」に関する課題）

…日常の豊かな暮らしを実現するため、地域住民と行政が一体となり、地域コミュニティを維持する必要があります。

（３）基本的な考え方・テーマ

— 南東部地域のまちづくりのテーマ —

自然と文化に包まれ 交流といやしのある南東部地域

（４）地域まちづくりの方針と主要な施策

※ ○○は市民ワークショップ意見反映箇所

※ 【重点施策】は市民ワークショップ及び庁内ワーキングにおける重点施策に位置づけられた施策・取り組み

①地域資源を活用した地域住民、市民、来訪者による交流のまちづくり

○かけがえのない豊かな自然を市民・地域の財産として後世に残します。

➤ 営農環境の向上と農地の保全・活用、耕作放棄地の適正管理並びに利活用に向けた支援の実施【重点施策】

➤ 金峰山系の山間部における公益的機能（貯水機能、景観保全、生態系維持など）の維持・向上

➤ 不法投棄の監視徹底

➤ E M（有用微生物群）などの使用による環境浄化活動の支援

○本市の観光拠点として、来訪者・観光客との交流の場づくりに努めます。

○地域住民主体による地域資源を活用した来訪者との交流促進を図ります。

➤ **地域の自然や豊富な農産物などを活用した体験・交流イベントの開催【重点施策】**

➤ 小田温泉周辺における魅力的な観光空間の形成

➤ **地域を担う中核農家の育成支援【重点施策】**

➤ 地元農産物などを活用した生産から加工、販売までを実施する事業者に対する支援並びに郷○市における集客向上策の実施支援

➤ 地域主体による地域資源マップ（歴史・観光マップ、イベントなど）の作成や誘導サイン・案内サインの設置、集客イベント（小説「草枕」、夏目漱石を活用したイベントなど）の企画・運営に対する支援

➤ 「尾田の丸池」の名水や地域内で採れる薬草などを活用した地域おこし活動に対する支援の実施

➤ 官民が協働で進める良好な景観形成に向けた取り組み（眺望ポイントの整備・改善（休憩施設など）、PRの実施、景観にちなんだイベント開催など）に対する支援の検討

②豊かな自然と文化に包まれた、ゆとりと潤いのある住み続けたいまちづくり

○誰もがいきいきと生活できる快適な住環境づくりに努めます。

➤ 本地域より本市中心市街地（JR玉名駅方面）への交通アクセス機能の向上

➤ 交通渋滞箇所（国道208号高瀬大橋交差点等）の渋滞解消対策の検討

➤ 熊本市からのアクセス強化に向けた県道1号線の道路改良の推進

➤ 天水グラウンドの機能の充実

➤ 有明海沿岸道路（Ⅱ期、熊本市～大牟田市間）の候補路線から計画路線への格上げを要望する活動の継続実施

➤ 住環境の整備・改善（農業集落排水の普及促進、市町村設置型浄化槽の普及促進、水道施設の計画的な更新、老朽化した公園施設の再整備）

➤ 空家・空地の解消及び活用に向けた取り組みの実施

○適切な土地利用の誘導による居住環境と営農環境の調和を図ります。

➤ 既存農地における無秩序な宅地化の防止並びに既存集落への住宅立地の誘導

○誰もが安心・快活に暮らし続けることができる福祉のまちづくりを進めます。

➤ 福祉施策との連携による誰もが安心して暮らせる住宅施策の展開

➤ 路線バスの運行維持が困難な地域や公共交通空白地域における地域密着型の公共交通（乗合タクシーなど）の導入検討・展開

③みんなの力で進める安全に住み続けられるまちづくり

- 自然災害から地域住民の生命、財産を守る防災まちづくりの推進に努めます。
- **高齢者や観光客などの歩行者が多い地域などにおける「人」の視点に立った交通安全対策の推進【重点施策】**
- **平坦部から唐人川に挟まれた地区における排水対策の検討【重点施策】**
- **イノシシによる人的被害防止対策の推進【重点施策】**
- **生活道路における事故抑止対策の実施【重点施策】**
- 土砂災害警戒区域における段階的な改善対策の推進
- 天水グラウンドにおける広域避難場所としての機能充実

④誰もが安心して生活できる、地域みんなで元気になるまちづくり

- 日常の豊かな暮らしを実現するため、市民と行政による協働のまちづくりを推進し、地域コミュニティの維持を図ります。
- 地域住民や関係団体がともに活動する「校区コミュニティ協議会（仮称）」の設置検討
- 地域に根付いた伝統文化を後世に継承するため、連帯感や郷土愛に支えられた元気な地域コミュニティ活動の継続を支援します。
- 小天天子宮の「火の神祭り」をはじめ、各地区に伝わる祭りや神楽などの伝統文化の継承
- 「草枕の里」のPR活動や団体の育成支援

図一南東部地域まちづくり方針図 **自然と文化に包まれ 交流といやしのある南東部地域**

